

平成30年度第1回北区地域包括支援センター運営協議会議事録

1 日 時：平成30年7月30日（月） 午後2時～3時30分

2 場 所：北区役所 2階大会議室

3 出席者：13人（欠席委員1名）、傍聴人なし

4 議題

(1) 平成29年度あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）の運営状況について

(2) 介護予防ケアマネジメントと対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて

～指定介護支援事業所の選定における確認書について～

(3) 平成30年度 あんしんすこやかセンター事業計画について

(4) あんしんすこやかセンター自己評価について

①自己評価作成の目的及び内容について

【以下非公開】

②各あんしんすこやかセンターの自己評価について

(5) 特定事業所へのサービス集中率等について

地域包括ケアの充実のための事業目標（平成29年度）の評価および地域活動計画について

4. 当日出された主な意見および事務局回答

<公開>

委員：薬剤師会で行っているフレイルチェックがある。出張での実施について問い合わせもあるが、薬局を健康相談の場所としたいので是非薬局に来ていただきフレイルチェックを受けていただきたい。病気の初期の兆候があれば薬剤師が医療機関を紹介し、またフレイル状態の方であればあんしんすこやかセンターへつなぎたい。各あんしんすこやかセンターでフレイル状態が心配だと思う方がいたら、相談していただきフレイルチェックを行っていききたい。

委員：困難事例に対応について居宅事業所はあんしんすこやかセンターに相談し地域ケア会議等も開催してもらいながら対応してもらっている。件数は数字的には分かるが、対応してどういった結果になったのかについて現場へも情報共有できるような体制をとってもらいたい。

事務局：困難事例の対応は、終結で終わってしまうのではなくフィードバックしてケアマネジャーの資質向上を図れるような体制も取れるようにしていきたい。

委員：緊急対応件数が多い。地域でいろいろな方が見守りをしている中でどうしてなのか、どういったことが原因で件数が多いのか知りたい。

事務局：民生委員、友愛訪問、協力事業者からタイムリーに連絡が入ってきており、あんしんすこやかセンターと連携が良く取れていると考えられる。北区は新聞が溜まっているというようなちょっとしたことをきっかけに連絡が入るケースも比較的多い。件数が多いのであれば地域でどのように解決を図ったらいいのか、地域ケア会議で話し合いをし、ネットワークを広げ、どのように養護するか、発見していくかを考える事も必要。中には発見され助かったケースもある。見守り早期発見は大切である。

委員：資料1 実績報告書の前年度比の表記の仕方は、対前年度増加率と変更したほうが良い。北区は土砂災害警戒区域が多い。高齢者の避難等、今後災害対応についてもあんしんすこやかセンターが果たす役割が大きいと思う。

事務局：避難所開設後、災害対応担当部署より要援護者への対応要請があった場合、保健福祉部の保健師が面接を行うことがある。センター職員は支援している高齢者がどういう状況にあるかということは把握していただいていると思う。